

(久米島北方沖地震)

沖縄本島南部広域津波防災情報図(進入図)

計算条件： 最高水面(零位)
 隆起量： 平均 -2cm(-4 ~ +7cm)
 Zo： 1.18m
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系(WGS84)

凡例

最大水位上昇

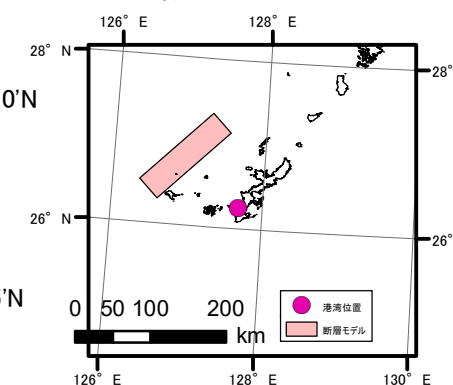
- 10m以上
- 5~10m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

進入時最大流[knot]

- 12 knot
- 8 knot
- 4 knot

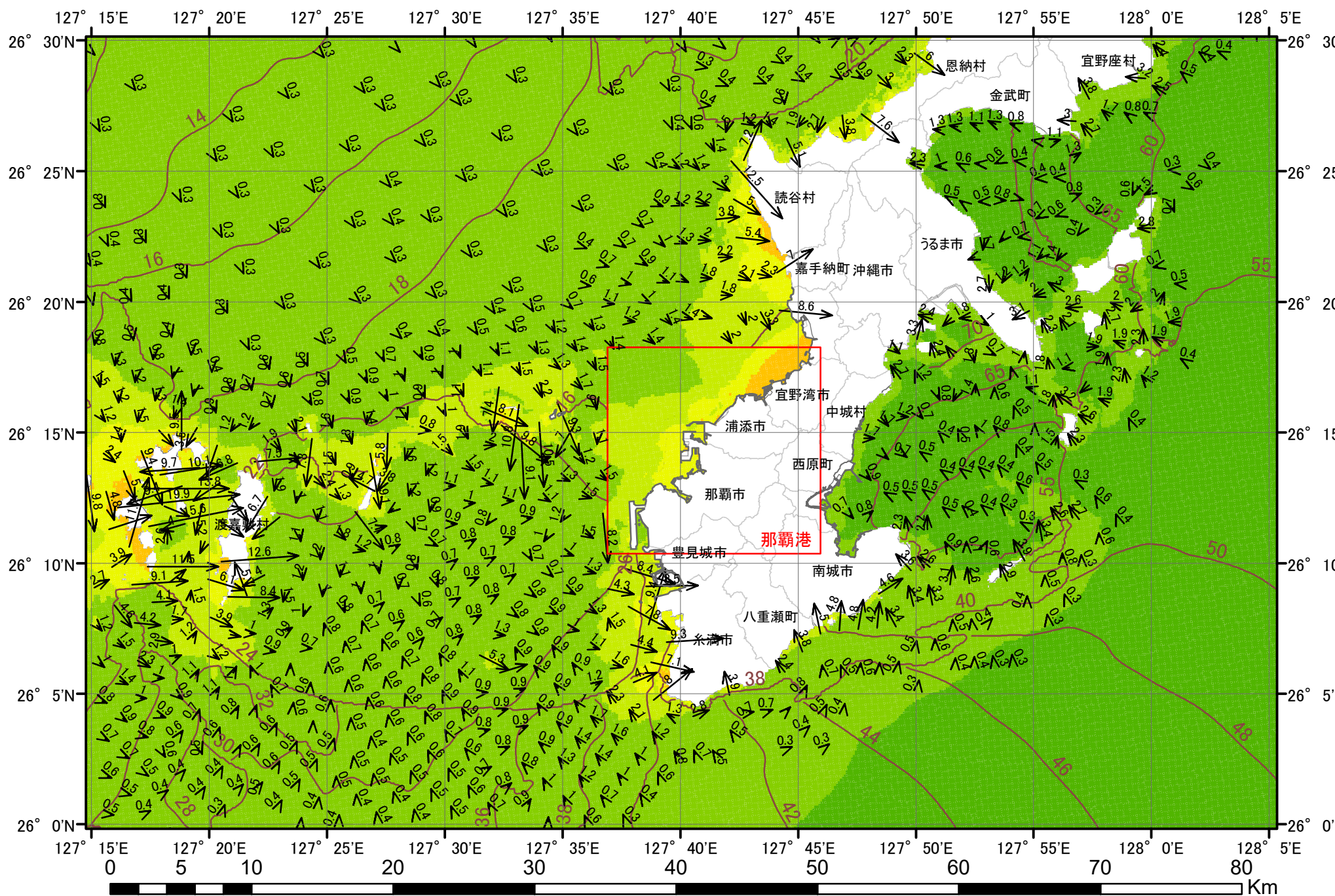
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点算出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断層モデル



久米島北方沖地震

断層面積 S (km ²)	5,200
平均すべり量 D (m)	8
モーメントマグニチュード Mw	8.1



- 本図の作成にあたっては、"津波解析支援GISシステム(ArcGIS 10 対応)"を使用した。
- 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 - ・海上保安庁が保有する水深データ
 - ・国土交通省国土数値情報(ダウンロードサイト <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html> (2021年8月2日取得))

本断層モデルは、沖縄県津波浸水想定(沖縄県、平成27年3月)で検討されたモデルである。使用した断層モデルは、沖縄県が設定した断層モデルの中から、本図の区域において、最も水位が卓越するモデルを選定した。